

薬連ハイライト

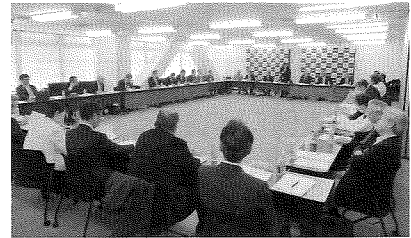
日薬連盟総務会報告

令和元年度第6回総務会が、令和2年2月19日(水)午後1時30分より日本薬剤師会会議室で行われた。司会は岩本幹事長で進められ、山本会長挨拶、その後藤井、本田両議員の挨拶の予定であったが、新型コロナウイルス対策会議のため急遽欠席となった。

山本会長の議長のもと、各都道府県薬連盟主催の若手薬剤師指導者育成フォーラム、JPLフォーラム2020、全国薬剤師フォーラム2020の開催予定、日本薬剤師会を巡る最近の諸問題(令和2年度調剤報酬改定等)、令和2、3年度評議員数、日本薬剤師会の新型コロナウイルス感染症対応本部等について担当役員が報告し、その後、令和元年度定時評議員会次第、令和元年度会務並びに事業中間報告、第25回参議院議員選挙結果総括報告、組織内統一候補者選考報告、令和2年度の事業計画、責任負担金賦課額、責任負担金単価、収入支出予算、借入金最高限度額、

会長・監事選挙の件について定時評議員会に議案提出することについて説明され、賛成多数で承認された。

次に協議に入り、次期参議院議員選挙の件について、評議員会で決定次第すぐに活動をスタートしたいとして、これからの活動に対する意見交換を行った。その他組織強化委員会からの提言案を担当から説明され、次期執行部に引き継ぎたいとして、意見を求めた。最後に山本会長より「次期参議院議員選挙の候補者が今日皆さんの総意で固まった。それに向けて2年4ヵ月間進めるような体制を作っていく。藤井先生の後を作るという目的に向けて皆と連携しながら一丸となって進みたいのでよろしくお願ひしたい」と述べ、議事を終了した。



もとゆき便り

来年度予算案審議は参議院へ

自由民主党政務調査会会長代理
参議院議員・薬剤師
藤井 もとゆき



来年度(令和2年度)予算案は、2月28日の衆議院本会議にて可決し、参議院に送付されました。衆議院では議決に先立ち、予算委員長の解任決議案、並びに法務大臣の不信任決議案が27日に提出されましたが、いずれも与党等の反対多数により否決されました。

参議院予算委員会は3月2日、今般の新型コロナウイルス感染症対策について、政府からの説明を求めて審議に入りました。

安倍首相は感染症の現状について、専門家の知見によれば、この一、二週間が急速な拡大に進むか終息できるかの瀬戸際であるとの見解が示されていること。子供への感染事例も認められていることから、子供たちへの集団感染は何としても防がなければならないとして、全国の小中高校の臨時休校を要請したと説明しました。

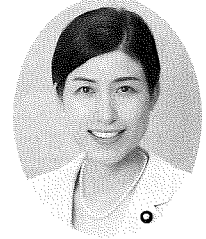
そして、休校に伴う対策、今回の感染症の拡大により影響を受けた事業者等への対応のため、予備費を活用した第2弾の緊急対策を早急に取りまとめることを表明しました。また、緊急事態宣言の実施も含め、新型インフルエンザ特別措置法と同等の立法措置を進める考えを示しました。

新型コロナウイルス感染症の状況は時々刻々と変化していますが、政府はもとより、国民が一丸となって拡大防止に取り組むことが何より重要となっています。

オレンジ日記

アンサングシンデレラ

自民党女性局次長・厚生関係団体委員会副委員長
参議院議員・薬剤師 本田 顕子



「アンサングシンデレラ」というコミックをご存じでしょうか。病院薬剤師が主人公となるコミックで、4月から放映されるテレビドラマになるそうです。主人公である「葵みどり」役を有名女優が演じると聞きましたので、たくさんの視聴者に、薬剤師業務の大切さや薬剤師の仕事の役割を知っていただけるものと期待しています。編集者は、「医師と対等に動ける立場の薬剤師はドラマになる」と言っているそうです。

作者は、単に病院薬剤師の業務を漫画にするのではなく、総合病院の薬剤部に勤務している新人薬剤師が、薬剤部の仲間、医師、看護師等と、様々な病気の患者に向き合う姿を、病院内の人間関係や患者の家庭環境等も交えて、テーマ毎に面白くも感動的に表現しています。

また、病院内の業務だけでなく、薬局薬剤師との薬・薬連携や合同勉強会の話も含まれています。

読者やドラマの視聴者には、薬剤師業務を理解していただけたらと思いますし、「アンサング」の意味である「表立って称賛されない、縁の下の力持ち」である薬剤師の姿に共感していただけるのではないのでしょうか。

薬剤師に対する認識が深まり、「薬のことは薬剤師に聞いてみよう!」と、多くの方が当たり前に思っただけの一つのきっかけになることを期待しています。